

教育センター通信

第9号(通算 136 号)
令和8年1月29日

三条市教育委員会
教育センター発行

ほ ど
火床の火の心を紡ぐ

小中一貫教育
トップページ



三条おおじま学園研修会 ～冬の陣～

「知育」「徳育」「体育」の3部会に分かれ、今年度の振り返りと次年度に向けた検討

授業参観で広がる教師の学び

教育センター 指導主事 藤井 佳介

各種研修やオーダーメイド訪問等を通して、今年度も数多くの授業を参観させていただきました。授業を構想・準備し実践された先生方、その授業を支援された多くの皆様、そして協議会に参加され一緒に授業について考えられた方々に改めて敬意を表します。また、多くの学びを与えていただいたことに、この場をお借りして御礼申し上げます。

子どもたちが一人一人違った個性をもっているように、我々教師もまた同様です。個々の教育観や関心のある領域、専門とする教科領域、経験年数、勤務してきた学校での研修内容など、様々に異なります。授業を参観させていただく度に、子どもへの関わり方、教材の工夫や発問、板書など、実に多様であることを改めて実感しました。他の方の授業を参観することは、自分にはなかった視点や技術に出合う貴重な機会です。「こういう問い返し方があるのか」「この場面でこの支援は効果的な」などの小さな気付きの積み重ねが、自分自身の授業スキルを向上させ、授業改善につながっていきます。

また、小中一貫教育の視点から考えると、異校種の授業を参観することも重要です。小学校の学びが中学校にどのようにつながっているのか、子どもたちがどのような学習経験を経て中学校に進学するのかを知ることは、9年間連続した子どもの学びを支える上で大きなヒントになります。実際に異校種の授業を参観された先生方から、「小学校でどこまでできるようにしておくべきか、具体的な目標が見えた」など、新しい知見が得られたという内容の感想が多く寄せられています。

忙しい日々の中では、意識しなければ授業参観の機会をつくることは難しいかもしれません。しかし、校内研究授業等だけでなく、自ら時間をつくって日常的に他の先生の授業を参観し合うことは、自身の授業を見つめ直すきっかけになります。学校内、学園内で授業を自由に「見に行く」「見てもらう」文化を築き、お互いに授業力を高めていければと願っています。

令和7年度 三条ものづくり教育の推進

1 三条ものづくり教育のねらい

「和釘をつくる」「小刀を使ってものをつくる」「砥石を使って包丁を研ぐ」「鋸、鉋を使って木材を切る、削る」などの活動を通して、児童生徒のものづくりに対する興味・関心を高め、その楽しさや素晴らしさを実感できるようにします。そして、三条の「ひと」や「もの」と触れ合い、関わり合う中で友達と活動することに喜びを感じたり、周りの人々に感謝したりする心を育むとともに、「ものづくりのまち三条」のよさを知り、「ふるさと三条」を愛し、誇りに思う児童生徒の育成を目指します。

2 主な活動内容

三条で育つ子どもたちに、ものづくりの歴史とその心を知ってもらいたいという願いから、金物のまち三条の原点に触れることができる体験学習を実施しています。

今年度は、この四つの体験学習に107学級、児童生徒3,020人の参加がありました。事後アンケートでは、参加した子どもたちから次のような声がありました。「三条の金物の技術はこんなにすごいんだ」「刃物は慎重に使えば便利なものだと思った」「三条は金物のまちなのでこういう金属の作業を体験することはよいことだと思った」「とてもやりがいのある仕事だと思ったし、大工さんたちの技術に憧れた」などの感想です。教職員からも「三条の技術に対する誇りを持ち、ものづくりへの関心を一層深めることができた」という声がありました。キャリア教育の推進において、三条ものづくり教育は大きな位置を占めています。

(1) 小学校・義務教育学校前期

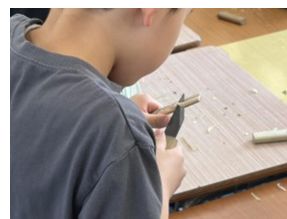
「和釘づくり学習」は、まちやまの鍛冶ミュージアムの参観と三条鍛冶道場での和釘づくりをセットで実施しています。

鍛冶ミュージアムでは、三条鍛冶の発展の歴史や三条商人との関わり、金物製品の実物などについて解説を聞き、鍛冶道場では、材料の鉄を火床に入れて、真っ赤になった材料を金づちで形を整えて、「階折釘」を作ります。



「小刀学習」は、シルバー人材センターに指導を委託し実施しています。

「竹とんぼ・竹箸・鉛筆けずり」から一つを選択して体験します。最初に小刀の安全な使い方を学習し、削る作業に入ります。竹の堅さに苦戦しながらも、指導者からアドバイスを受け、刃を入れる角度や力の入れ方を工夫して削ります。



(2) 中学校・義務教育学校後期

「包丁研ぎ学習」は、シルバー人材センターに指導を委託し実施しています。

砥石を使い、切れ味のよい包丁を目指して研ぎます。最後に試し切りを行い、新聞紙が「スー」と切れると、その研ぎのすばらしさに誰もが感動します。使った砥石は家庭にプレゼントし、学習の成果を家庭でも生かします。



「木工用工具学習」は、三条市建築組合に指導を委託し実施しています。

指導者の実演を見てから、鋸で木材を切ったり、鉋で木を削ったりします。実際にやってみると、なかなか実演のようにはいかず、改めて職人の一流の技に驚く声が聞かれます。ここでの学びは技術家庭科の授業にも生かします。



令和7年度オーダーメイド訪問について

オーダーメイド訪問回数 (1月27日現在 昨年度同時期比：+1件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
訪問回数	1	0	5	5	6	11	18	12	3	2	63

今年度もオーダーメイド訪問を多くの学校から御活用いただきありがとうございます。

校内研修や学園研修、三条市学校教育研究協議会各部会の授業公開や指導案検討会等で、先生方の前向きな授業改善の取組を拝見させていただきました。本訪問が、少しでも授業改善の一助となったのであれば幸いです。

教科別には、三条市の重点教科である数学(21回)・算数(9回)と外国語(6回)が多く、続いて社会(5回)、国語・体育・特別支援(4回)、音楽・道徳(1回)、その他(7回)といった内訳となっています。

学校別に見ると、全ての学校で4回以上(市教研含む)の訪問を実施していただき、16回(市教研含む)の訪問を実施した学校が最多となりました。また、学園別でも、どの学園も1回以上の訪問を実施していただき、4回の訪問実施をしていただいた4つの学園が最多となりました。

授業づくりにおいて、校内や学園の多くの先生方が関わり、授業者を支える体制で取り組まれたり、「授業者の構え」や「学習に向かう子どもの姿」から学び合おうとする協議会であったりと、各学校・学園において、まさに「主体的・対話的で深い学びの実装」を力強く求める姿が見られました。

もちろん、年度末の訪問依頼も大歓迎です。「授業のアドバイスがほしい」「新年度に向けこんな授業をしたい」といった相談など、お気軽にお申し込みください。

不登校に関わる支援員研修 令和7年12月26日(金)開催

臨床心理士・公認心理師の佐藤 浩平様を講師にお招きし、不登校に関わる支援員研修を開催しました。佐藤様は、発達やこころの課題を抱える子どもやその家族への心理支援に長年携わってこられ、2年前には三条市内に「こころと発達のケア相談室すいみいはうす」を開設され、地域に根ざした臨床実践を行っておられます。

今回は、「不登校の理解と支援」を演題に、不登校を取り巻く課題、発達障害との関連、不登校の予防的支援の在り方などについて理論と実践を結ぶ御講義をいただきました。

講義では、「発達障害の特性が理解されない環境において、特性のある子どもが苦しさを抱え、二次的な課題として不登校に至るケースが多いこと」「本人と保護者の双方に働きかけることが孤立の予防につながること」「不登校対応においては、安心・安全な人や居場所を確保し、できるようになったことを大切に維持していくことが重要であること」など、明日からの支援に生かせる多くの示唆をいただき、非常に有意義な研修となりました。参加者は終始熱心に耳を傾けていました。



【参加者感想抜粋】

- ・研修内容は非常に濃く、大変学びの多いものでした。実際の現場での事例を交えたお話を伺う中で、現在自分が担当している教室の子どもたちの姿が何人も思い浮かび、日々の支援を振り返る貴重な機会となりました。
- ・支援においては、本人を中心としたチームに関わることの重要性や、配慮すべき点・目標を明確にし、本人及び保護者と合意形成を図っておくことの大切さを改めて理解することができました。理論と実践が結び付いた講義を通して考えが整理され、自身の支援が根拠をもって行えているかを内省し、今後の支援に生かしていきたいと感じました。

三条市 部活動の地域展開について

今年度、9月に卓球、11月にバスケットボールとサッカーの、休日における地域クラブ活動を開始しました。これにより、三条市の中学校・義務教育学校に設置されているスポーツに関する部活動全種目について、休日の地域クラブ活動がスタートしたことになります。地域クラブ活動で指導してくださっている地域の指導者の皆様、そして兼職兼業の申請をし、指導してくださっている教職員の皆様、本当にありがとうございます。

吹奏楽については、各校の求めに応じて、三条市吹奏楽団から専門の指導者を休日の部活動に派遣し、活動の充実を図っています。吹奏楽以外の文化芸術活動については、三条市が主催している「わくわく文化未来塾」に20以上の講座があり、現在30名の生徒が参加しています。

今後の地域展開のスケジュール、受益者負担額、各スポーツ種目の方針等については、12月26日に発行した「地域クラブ活動通信 vol.4」を御参照ください。

また、2月8日（日）15:00～16:30、栄庁舎3階ホールを会場に今年度2回目の「地域展開説明会」を開催します。詳細については、次のURL、2次元コードから御確認いただき、ぜひ御参加ください。

【地域クラブ活動通信 vol.4】

URL

<https://x.gd/vctHB>



【地域展開説明会案内】

URL

<https://ourl.jp/gl411>



三条キャリア教育バンク成果報告会 令和8年2月24日（火）開催

三条市教育センターでは、2月24日（火）14:30～16:30の予定で、令和7年度 三条キャリア教育バンク成果報告会を開催します。

今年度の三条キャリア教育バンクの活動の成果と課題、今後の展望等について、参会の皆様と語り合い、次年度につなぐことを目的としています。

当バンク活用の事例紹介とパネルディスカッションを行います。パネラーは、事業者代表として、

㈱ナカジョウの 中條 耕太郎 様

三条風協会&遊亀楼魚兵の 結城 靖博 様

から御登壇いただきます。さらに、

グローバルマーケティング㈱の 大澤 容佳 様

からパネルディスカッションのファシリテーターとして進行していただきます。

三条市立学校28校の先生方からも、ぜひ御参会の皆様と、ふるさと三条の未来を担う子どもたちの姿を真ん中に据えた意見交流していただければ幸いです。

どうぞ、多くの皆様からの御参加（対面でも、オンラインでも、アーカイブ視聴でも）をお願い申し上げます。お申込みは、チラシの二次元コードか、次のURLからお願いします。【締め切り：2/6（金）】

<参加申込みフォーム> <https://forms.gle/zry4xX9X6862xPuG7>

皆さまのお力添えで初年度が無事に終了いたしました

三条キャリア教育バンク

成果報告会 + 交流会

令和8年
2月24日（火）
14:30～16:30

会場：三条市栄庁舎3階ホール
〒959-1192 三条市新堀1311

Zoomによるオンライン参加も可
YouTubeによるアーカイブ視聴も可

三条市立学校職員からの声
多くの事業者様に御登録いただき、感動しました！今後もぜひ活用したい！
体験を通して自分の住む地域の良さに気づき、キャリア教育の足掛けになると感じました！

お申込みはコチラ
2月6日（金）まで

＜スケジュール＞

- バンク活用のお礼・成果報告
- 受入れ事業者・学校の事例発表
- 学校・事業者・地域の3方良しを目指すためのパネルディスカッション + 参加者交流（栄庁舎では開会後も参会者同士で交流可能です）

【お問合せ先】 三条市教育センター TEL0256-45-1116

皆様の登録事業者様

- バンクに関心のある方
- 学校との連携に関心のある方
- 三条市立学校教職員

ぜひ御参加ください！！

バンク登録事業者様の声

児童・生徒の皆さんに、自社を知ってもらい機会になった！

児童・生徒の皆さんとの関わりが、社員の働き甲斐向上につながった！

今年の経験をもとに、事業者としても改善策と一緒に考えたい！

SCAN QR CODE